

日時：令和7年8月18日（月）
午前10時30分～正午（予定）
場所：宇都宮市役所 本庁舎
14階 14A会議室

令和7年度 みんなでまちづくり会議

<趣旨>

- ・ 第3次市民協働推進計画（後期計画）における令和6年度の進捗状況及び今後の取組方針について報告するもの
- ・ 各委員・所属団体が取り組む市民協働のまちづくりにおける現状と課題の
について共有するもの

令和7年8月18日（月）
市民まちづくり部 みんなでまちづくり課

委員名簿

No.	区分	委員名	所属団体・所属名等	備考
1	1号委員 学識経験者	ツボイ ソタロウ 坪井 塑太郎	帝京大学 経済学部地域経済学科 教授	
2	2号委員 市民活動団体	イナバ ユタカ 稲葉 豊	宇都宮市自治会連合会 副会長	
3		ウメムラ エミコ 梅村 英美子	特定非営利活動法人うつのみやオリーブ 理事長	
4		オオモリ ミキオ 大森 幹夫	宇都宮市地域まちづくり推進協議会 副会長	
5		キムラ ユミコ 木村 由美子	宇都宮市女性団体連絡協議会 会長	
6		タカノ ミオ 高野 美緒	特定非営利活動法人うつのみや百年花火 2025うつのみや花火大会 事務局長	
7		マツモト ヤスヒロ 松本 泰宏	宇都宮商工会議所 地域振興部 次長	
8		ワク フミヒコ 和久 文彦	特定非営利活動法人宇都宮市国際交流協会 理事長	
9	3号委員 関係団体	セキグチ タダシ 関口 直	北関東総合警備保障株式会社 機械警備運用部 取締役(CSR認証企業)	
10		タケゴシ ユキヒロ 竹越 幸博	明治安田生命保険相互会社 宇都宮支社 市場統括部長(包括連携協定締結事業者)	欠席
11		ニワノ キクコ 庭野 喜久子	とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」コーディネーター	
12	4号委員 公募	ウガジン ミツオ 宇賀神 光夫	—	
13		ソガベ ヒロオ 曾我部 洋水	—	

(敬称略)

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介, 会議概要説明

・・・資料1 (P.4), 参考2

4 座長・副座長選出, 座長あいさつ

5 議 題

【報告事項】

・ 「第3次市民協働推進計画（後期計画）」の進捗確認について

・・・資料2 (P.5～25), 別紙, 参考1

【意見交換】

・ 各委員・所属団体に取り組む市民協働のまちづくりにおける現状と課題の共有について
・・・資料3 (P.26)

6 その他

7 閉 会

1 みんなでまちづくり会議とは（【参考2】みんなでまちづくり会議設置要領 参照）

- ・ 市民協働のまちづくりに関し必要な事項について、幅広く意見を聴くための場
- ・ 主に、「第3次宇都宮市市民協働推進計画（後期計画）」における進捗状況等の報告を受け、意見・提案等を行う。事務局は、それらを今後の市民協働の推進（施策）に反映する。

※ 令和5年度については、後期計画の初年度であり、報告対象（前年度の取組の進捗状況等）がなかったことから開催なし

2 委員の任期

令和7年6月から令和9年5月までの2年間

3 座長及び副座長

委員の互選により、座長1名と副座長1名を選出する。

【報告事項】

「第3次市民協働推進計画（後期計画）」の進捗確認について

1 「第3次宇都宮市市民協働推進計画」について（P.6～9）

⇒ 計画の概要について説明

2 進捗状況及び今後の取組方針について（P.10～25）

⇒ 令和6年度の進捗状況と今後の取組方針について報告

1 「第3次宇都宮市市民協働推進計画」について

(1) 計画の位置づけ

- ・ 本計画は、「宇都宮市自治基本条例」で掲げる自治の基本理念を根幹とし、第6次宇都宮市総合計画基本計画の分野別計画「市民が主役のまちづくりの推進」に位置付けられたもの
- ・ 本市の市民協働の方針を示した「市民協働推進指針」に基づき、市民協働のまちづくりを推進するための計画

(2) 計画の役割

「市民協働推進指針」に基づき、協働という手法を活用し、最適な組み合わせにより効果的にまちづくりを行うことや、宇都宮市のまちづくりに関わる全ての人や団体に「市民協働の広がり」を推進していくための「仕組み」や「体制」を構築していくもの

(3) 計画期間

2018（平成30）年度から2027（令和9）年度までの10年間

- ・ 前期計画 平成30年度～令和4年度（満了）
- ・ 後期計画 令和5年度～令和9年度

1 「第3次宇都宮市市民協働推進計画」について

(4) 計画の構成

基本理念

いつまでも かがやき つながり 支えあう「協働のまちうつのみや」の実現

<基本目標（4）>

【基本目標1】
地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている

【基本目標2】
まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している

【基本目標3】
まちづくり活動団体の活力が維持されている

【基本目標4】
まちづくり活動主体の連携・協力が広がっている

<基本施策（8）>

1-1 協働を促進する意識づくり

2-1 参加しやすい機会の提供

2-2 参加しやすい環境の充実

3-1 団体同士の連携・協力の機会創出

3-2 団体の育成・強化

4-1 民間活力の活用促進

4-2 コーディネート機能強化

4-3 ネットワークづくり

<取組事業（45）>

- ・まちづくり活動参加 に向けた意識改革
- ・まち活応援事業
- ・女性や外国人への参加意識啓発 等

- ・女性リーダー育成
- ・外国人の参加促進
- ・新たな担い手確保に向けた人材育成 等

- ・重層的支援体制整備 事業
- ・自治会活動活性化及び加入促進に向けた取組強化 等

- ・公民連携事業の推進
- ・多様な活動主体への参加促進支援事業
- ・多様な活動主体の連携支援事業 等

1 「第3次宇都宮市市民協働推進計画」について

(5) 計画の活動・成果指標

ア 活動指標

基本目標ごとに、目標の達成に向けた活動指標を設定

基本目標 1

- ①生涯学習センター等における講座の受講者数
R3基準値：14,026人 ⇒ R9目標値：50,000人

基本目標 3

- ①市民活動助成団体数
R3基準値：17団体 ⇒ R9目標値：20団体
- ②「うつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数（累計）
R3基準値：3件 ⇒ R9目標値：50件
- ③自治会加入世帯数
R3基準値：148,370世帯 ⇒ R9目標値：150,000世帯

基本目標 2

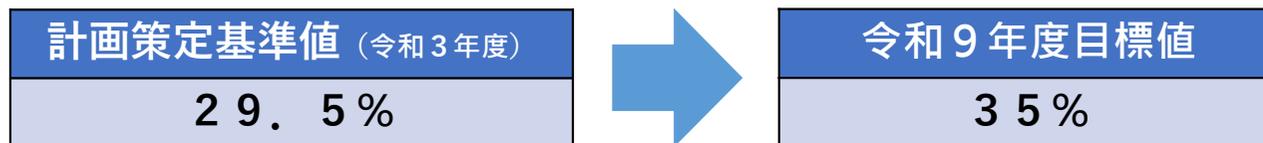
- ①まちづくり活動応援事業活動参加者数
R3基準値：3,825人 ⇒ R9目標値：11,000人
- ②まちづくり活動応援事業登録活動数
R3基準値：1,254件 ⇒ R9目標値：2,800件

基本目標 4

- ①公民連携デスクにおける相談件数（R6からは「ミヤ・共創ラボ」受付件数）
R3基準値：30件 ⇒ R9目標値：30件
- ②まちぴあ相談件数
R3基準値：426件 ⇒ R9目標値：600件

イ 成果指標

「まちづくり活動に参加している」市民の割合



1 「第3次宇都宮市市民協働推進計画」について

(6) 計画の進行管理

- ・ 各施策の進捗状況を毎年度確認し、適宜「市民協働推進委員会」において確認し、計画推進に向け協議・検討する。
- ・ 各施策の進捗状況について、「みんなでまちづくり会議」へ報告するとともに、委員から出た意見・提案等を市民協働の推進に反映する。
- ・ 毎年度の進行管理については、個別の取組の進捗（スケジュールや個々の活動指標）を基に、取組の評価を行う。（基本目標ごとの活動指標や計画全体の成果指標については、毎年度の進行管理においては、参考値として確認し、計画全体の総括を行う令和9年度に評価する。）

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(1) 評価区分

ア 取組・事業

令和6年度の進捗状況により、以下の評価を行う。

定量評価	定性評価	評価
順調 (達成率100%以上)	順調に進捗しており、 特に改善すべき課題のない事業	A
概ね順調 (達成率70~100%未満)	概ね順調に進捗しているが、 一部改善すべき課題がある事業	B
やや遅れ (達成率70%未満)	改善すべき課題がある事業	C

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(1) 評価区分

イ 基本目標

基本目標に属する各事業の評価により、以下の評価を行う。

- ・ 各事業の A～C 評価を点数化（A 評価：100 点，B 評価：80 点，C 評価：60 点）
- ・ 点数の合計を事業数で除して基本目標全体の 1 取組の平均値を算出
- ・ 平均値の点数により総合評価を実施

【例】指標が 6 つあり，A 評価が 2 取組，B 評価が 3 取組，C 評価が 1 取組の場合
 $(100 \text{ 点} \times 2 + 80 \text{ 点} \times 3 + 60 \text{ 点} \times 1) \div 6 = 83.3 \text{ 点}$

区分	総合評価
90 点以上	順調
75 点以上 90 点未満	概ね順調
75 点未満	やや遅れている

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている

基本 施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次 評価
1 ・ 1 協働を促進する意識づくり	1	【重点・拡充】 まちづくり活動参加に向けた意識改革	まちづくり活動に参加したいと思わないという層や、女性や外国人などに対し、まちづくり活動に対する意識改革を図るため、まちづくりセンターにおいて、幅広い世代や多様な人々に対する体験講座を実施する。	【指標】まちづくりセンターが開催するボランティア体験プログラム事業等参加者数 【目標】425人 【実績】458人	A
	2	【重点・拡充】 時代に即した自治会加入の啓発	地域まちづくり活動の活性化や活動の担い手の確保を図るため、自治会長等の自治会活動への意識改革のための研修会等の開催を支援する。	【指標】「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた意識醸成を図るための取組の推進 【実績】自治会が抱える共通の課題や悩みの解決に向けた具体的な取組を学ぶ「自治会活動・元気アップ研修会」を2回開催し、今回は、「防災訓練を豊かにするアイデアを考える」をテーマに、56名の自治会長等に既存の自治会活動のアップデート方法について学びの機会を提供することができ、自治会長等の意識醸成を図ることができた。 また、3月に「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」を制定し、自治会の活性化等に向けて自治会や市民その他の関係者が果たすべき役割や、それぞれが等しく地域社会を構成する一員である意識を持ちながら相互に連携・協働する重要性を明記した。	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている

基本施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次評価
1・1 協働を促進する意識づくり	3	【重点・新規】 女性や女性団体のまちづくり活動への参加意識の啓発	女性活躍の事例集や、男女共同参画推進センター「アコール」で実施している「地域における女性リーダー養成講座」等を活用し、啓発を実施する。	【指標】 地域で活躍する女性や女性団体の事例発表会の開催 【目標】 1回 【実績】 1回	A
	4	【重点・新規】 外国人のまちづくり活動への参加意識の啓発	外国人市民にまちづくり活動に関する情報を発信していくとともに、地域活動団体等に対し、外国人市民の状況やコミュニケーションのポイントなどの情報提供に取り組む。	【指標】 外国人や地域まちづくり組織などへの情報発信数（SNS, まちづくり組織全体会, 広報紙ミニ特集） 【目標】 3回 【実績】 3回	A
	6	【新規】 まちづくりへの意識を高める学習の推進	郷土愛や住民意識を醸成し、地域づくりやまちづくりの取組を促進するきっかけとするため、全ての市民が地域課題や魅力を発見・共有する「地域学」、本市独自に創設した、宇都宮の歴史や文化を知る「宇都宮学」講座等を実施する。	【指標】 地域学、宇都宮学の受講者数 【目標】 1,080人 【実績】 1,630人	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている

基本施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次評価
1・1 協働を促進する意識づくり	8	【新規】 共生のころをはぐくむプロモーション事業	地域共生社会の実現に向けて、誰もが地域社会の一員としてその地域と関わり合いながら、支え手となれるよう、共生のころをはぐくむ人づくりの推進に取り組む。	【指標】地域共生社会の実現に向けた理解促進 【実績】市有施設のモニター等を活用し「地域共生のころをはぐくむプロモーション動画」を放映したほか、市民福祉の祭典での「地域共生クイズ」ブースの出展、広報紙への「保健と福祉のまるごと相談窓口エールU」の特集掲載など、様々な機会を捉えて地域共生社会の理念や「エールU」の周知を実施し、市民の福祉意識の向上や地域共生社会の理解促進が図られた。	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている

【総合評価】

評価区分	事業数
A	8
B	1
C	0
計	9

総合評価

97.8点
順調

【参考：活動指標】

①生涯学習センター等における講座の受講者数

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
14,026人	35,322人	32,371人	50,000人

《評価》

- ・ 計画計上事業の9事業中9事業がB評価以上、うち8事業が「A評価」となるなど、総合評価は「順調」となり、基本目標の達成に向けた取組を着実に進めることができた。
- ・ 更に、参考指標である「①生涯学習センター等における講座の受講者数」について、R5から減少したものの、企業や地域と連携した講座の充実などに取り組んだことから、自発的な協働意欲の形成につながった。
- ・ また、3月に「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」を制定し、自治会の活性化等に向けて自治会や市民その他の関係者が果たすべき役割や、それぞれが等しく地域社会を構成する一員である意識を持ちながら相互に連携・協働する重要性を明記するなど、地域社会の一員としての自発的な協働意欲の形成につながる基盤の形成を図った。

《今後の取組方針》

- ・ 引き続き、地域社会の一員としての自発的な協働意欲の形成に向けた各事業を着実に実施する。
- ・ 特に、誰もが住みよい地域社会の実現に向けて不可欠な基盤である自治会の活性化等に向けて、「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」の制定をきっかけに、自治会・まちづくり活動への参画に向けたさらなる機運醸成に取り組んでいく。

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している

基本施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次評価
2・1 機会の提供 参加しやすい	10	【重点・新規】 地域における女性リーダー育成	地域における女性リーダーを育成するため、男女共同参画推進センター「アコール」等において、講座や交流会等を開催し、女性リーダーの必要性や理解促進のほか、情報誌などで周知啓発を実施していく。	【指標】 女性リーダー育成に関する講座等の開催回数 【目標】 1回 【実績】 1回	A
2・2 環境の充実 参加しやすい	14	【新規】 地域イベント等参加促進支援事業	地域社会との繋がりづくりに向け、個人の状況やニーズ等に応じ、福祉協力員や民生委員などの地域福祉の担い手が地域資源とのマッチングを支援する。	【指標】 支援対象者の事業活用に向けた意識醸成 【実績】 「共生の居場所ライトリンク補助金」を令和7年度までのモデル事業として創設し、社会との関係が希薄化している、又は希薄化する恐れのある人を含め、世代や分野を問わず誰もが集える居場所づくりへの支援を実施した。また、社会復帰や社会参加の促進に支援が必要な方に対して精神保健福祉士などが支援する「参加支援コーディネート事業」を開始した。	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している

基本施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次評価
2・2 参加しやすい環境の充実	15	【重点・新規】 「宮デジサポーター」養成事業	庁内各課と連携して、「宮デジサポーター講座」の受講者が、新たな宮デジサポーター候補となり得る地域人材を発掘する仕組みを検討するとともに、宮デジサポーターが活動しやすい環境を整備しながら、宮デジサポーターの養成人数の増加や活動促進を図っていく。	【指標】 宮デジサポーターの養成人数 【目標】 45人 【実績】 82人	A
	16	【重点・新規】 外国人のまちづくり活動への参加促進	外国人市民のまちづくり活動への参加促進を図るため、外国人市民と日本人市民の相互理解を促進させるための仕組みづくりに取り組む。	【指標】 多文化共生フォーラムの開催数 【目標】 1回 【実績】 1回	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している

基本施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次評価
2・2 参加しやすい環境の充実	17	【新規】 新たな担い手確保に向けた人材育成	地域で活動する人材を育てるため、まちづくり活動への参加を促進させる講座を開催し、地域活動に携わるために必要な知識や手法等を学び、学んだ内容を地域で実践できるよう取り組んでいく。	<p>【指標】新たな担い手確保に向けた人材育成の仕組みづくり</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源・魅力について学んだ市民が、大学生に教わりながらSNS（Instagram）を使った情報の発信手法を学ぶなど、新たな担い手の確保につながる多世代型の連続講座を開催することができた。 ・生涯学習センター・人材かがやきセンターにおいて、社会教育主事資格の取得を目指す社会教育実習生が、講座の企画・運営に携わった。 	A
	21	【新規】 「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進	庁内各課と連携しながら、効果的にデジタルを活用している地域活動団体等の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	<p>【指標】「うつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数（累計）</p> <p>【目標】26件</p> <p>【実績】26件</p> <p>※今後は、デジタル活用の実践事例等は市HPへ掲載し、地域活動団体へのデジタル活用支援については、他の支援メニューを充実することにより、令和6年度をもって、当該事業を終了することとした。</p>	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している

【総合評価】

評価区分	事業数
A	8
B	5
C	0
計	13

総合評価
92.3点
順調

【参考：活動指標】

- ①まちづくり活動応援事業活動参加者数
- ②まちづくり活動応援事業登録活動数

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
3,825人	6,683人	7,527人	11,000人

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
1,254件	2,384件	2,459件	2,800件

《評価》

- ・ 計画計上事業の13事業中13事業がB評価以上、うち8事業が「A評価」となるなど、総合評価は「順調」となり、基本目標の達成に向けた取組を着実に進めることができた。
- ・ 更に、参考指標である「①まちづくり活動応援事業活動参加者数」「②まちづくり活動応援事業登録活動数」はR5と比較して増加しており、まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境の充実に寄与しているものと考えられる。

《今後の取組方針》

- ・ 引き続き、まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境の充実にに向けた各事業を着実に実施する。
- ・ 特に、市民に対して気軽にまちづくり活動に参加するきっかけを提供する「まちづくり活動応援事業」の更なる活用促進を図るため、活動事例集や事業PR動画等を活用した活動団体等に対する利用の働きかけ、アプリの画面改修による利用者の利便性向上などに取り組むことで、まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境の更なる充実に図っていく。

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている

基本 施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次 評価
3 ・ 1 団体 同士 の 連携 ・ 協力 の 機 械 創 出	24	【重点・新規】 地域共生社会の実現に向けた 重層的支援体制整備事業	第2層協議体等を通じて、子どもから高齢者、障がい者、外国人などに関する地域の課題を把握し、支え合い活動の推進を図る。	【指標】地域における支え合い活動の推進 【実績】地域団体等に個別に取組の理解促進等を図ったことで令和6年度は第2層協議体が2地区（合計38地区）、共生型協議体が7地区それぞれ設置された。運営支援としては、市職員が各協議体の話し合いの場に同席し情報提供や検討への助言等を実施したほか、「地域の支え合い活動促進のためのガイドライン」を作成・配付するなどの支援を行った。また、支え合い活動の推進として「宇都宮市支え合い協議会」の活動を通じて地域や企業団体による支え合い活動の案内や参加を促すリーフレットを作成し、配布を開始した。	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている

基本 施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次 評価
3 ・ 2 団 体 の 育 成 ・ 強 化	26	【重点・拡充】 自治会活動の活性化及び加入 促進に向けた取組の強化	地域コミュニティの基盤である自治会への加入促進・退会防 止に向けた取組による活力維持を図るため、自治会シンポジ ウムや自治会活動・元気アップ研修会の開催、魅力ある自治 会づくり支援事業補助金の交付、デジタルを活用した役員の 負担軽減の取組を支援する。	【指標】魅力ある自治会づくり支援事業補助金交付 件数 【目標】20件 【実績】20件	A
	27	【重点・新規】 地域デジタル化の推進	団体運営の効率化に伴う自治会役員等の負担軽減や、地域活 動への参加者・担い手の確保に寄与するため、令和6年度に 自治会等のデジタル化を支援する新たな補助金を創設する。	【指標】地域活動団体デジタル活用支援事業補助金 の交付団体数 【目標】10件 【実績】14件	A
	29	【重点・新規】 女性や女性団体の活躍に向け た支援	自治会等における女性や女性団体の活躍促進を図るため、魅 力ある自治会づくり支援事業補助金等を活用した女性活躍促 進に向けた支援手法の検討に取り組んでいく。	【指標】女性活躍促進に向けた支援の仕組みづくり 【実績】 ・城山地区において、魅力ある自治会づくり支援事 業補助金を活用し、女性視点でまちづくり活動を考 える懇談会を開催した。 ・地域活動団体等における「男女共同参画・女性活 躍」の意識を醸成するため、『地域における女性活 躍の事例集』の作成に向けた地域の好事例の情報収 集を行った。（事例集は令和7年6月に完成）	A
	35	【新規】 宇都宮市ふるさと納税公益活 動支援事業	ふるさと納税の仕組みを活用し、公益的活動を行う団体を財 政的に支援することで、民間主体の公益的活動の更なる活性 化を図る。	【指標】補助決定団体数 【目標】10団体 【実績】7団体	B

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている

【総合評価】

評価区分	事業数
A	9
B	4
C	0
計	13

総合評価

93.8点

順調

【参考：活動指標】

① 市民活動助成団体数

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
17団体	13団体	22団体	20団体

③ 自治会加入世帯数

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
148,370世帯	146,789世帯	145,557世帯	150,000世帯

② 「うつのみやデジタルスクエア」掲載事例数（累計）

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
3件	18件	26件	50件

《評価》

- ・ 計画計上事業の13事業中13事業がB評価以上、うち9事業が「A評価」となるなど、総合評価は「順調」となり、基本目標の達成に向けた取組を着実に進めることができた。
- ・ 一方で、参考指標である「③自治会加入世帯数」は基準値と比較して減少しており、自治会の活力の維持に向け、更なる取組の強化を図る必要がある。

《今後の取組方針》

- ・ 引き続き、まちづくり活動団体の活力の維持に向けた各事業を着実に実施する。
- ・ 特に自治会については、加入率減少の潮流に歯止めをかけるため、「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」の周知と自治会の活性化等に向けた「地区版シンポジウム」の開催、自治会費集金における口座振替支援、高齢等を理由に活動が困難な方への負担軽減に対する支援など、加入促進、負担軽減、退会抑止の観点から、全国でも類を見ない手厚い支援に取り組む。

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標4 まちづくり活動主体の連携・協力が広がっている

基本 施策	No.	取組・事業名	取組方針	指標・実績	年次 評価
4 ・ 1 民間 活力 の 活用 促進	36	【重点・拡充】 公民連携事業の推進	地域課題の解決に資する「新たな価値の創造」に向け、宇都宮市東京オフィスと連携しながら、民間事業者や各団体からの提案を受け付けるとともに、社会実装のための実証実験を行う。	【指標】民間事業者との協議案件数（R6からは「ミヤ・共創ラボ」受付件数） 【目標】30件 【実績】173件	A
	37	【重点・拡充】 NPO等による地域課題等への取組の推進	地域活動団体とNPOが連携したまちづくり活動の推進を図るため、まちづくりセンターにおいて、地域活動団体が抱える課題に対し、NPO等が持つスキルを活用できるよう、連携・協力の支援を強化する。	【指標】まちづくりセンターにおける団体間連携事業数 【目標】10件 【実績】15件	A

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(2) 基本目標ごとの評価・今後の取組方針（詳細は別紙参照）

基本目標4 まちづくり活動主体の連携・協力が広がっている

【総合評価】

評価区分	事業数
A	7
B	3
C	0
計	10

総合評価
94.0点
順調

【参考：活動指標】

①公民連携デスクにおける相談件数
(R6からは「ミヤ・共創ラボ」受付件数)

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
30件	23件	173件	30件

②まちぴあ相談

R3基準値	R5実績値	R6実績値	R9目標値
426件	402件	423件	600件

《評価》

- ・ 計画計上事業の10事業中10事業がB評価以上、うち7事業が「A評価」となるなど、総合評価は「順調」となり、基本目標の達成に向けた取組を着実に進めることができた。
- ・ 更に、参考指標である「①公民連携デスクにおける相談件数（R6からは「ミヤ・共創ラボ」受付件数）」は、「宇都宮市東京オフィス」との連携により基準値と比較して大きく増加しており、企業を中心とした連携・協力の拡大に寄与しているものと考えられる。
- ・ また、参考指標である「②まちぴあ相談件数」は基準値からは減少したものの、R5と比較して増加しており、NPOや地域団体における連携・協力の拡大に寄与しているものと考えられる。

《今後の取組方針》

- ・ 引き続き、まちづくり活動主体の連携・協力の拡大に向けた各事業を着実に実施する。
- ・ 特に、自治会をはじめとする地域のまちづくり活動団体が担い手不足などの課題を抱えている状況を踏まえ、まちづくり活動団体の連携・交流の促進を担う「まちぴあ」において、これまで以上に積極的に地域に出向き、具体的なニーズを把握しながら、若年層や民間事業者など新たな協働の担い手を増やすための取組を行うことで、更なるまちづくり支援の強化・充実を図っていく。

2 進捗状況及び今後の取組方針について

(3) 総括評価

- 令和6年度の評価は全体を通して「順調」となった。
- 一方で、計画全体の成果指標である「まちづくり活動に参加している市民の割合」は前年度から微増にとどまっております、取組のさらなる強化を図る必要がある。
- 「今後ぜひ参加したい」または「機会があれば参加したい」と考える市民の割合が併せて30.2%であることから、まちづくり活動への参加の「きっかけ」を創出するため、引き続き、「まちづくり活動応援事業」などの活用促進などを通じ、市民のまちづくり活動への参加を促していく。
- 誰もが住みよい地域社会の実現に向けて不可欠な基盤である「自治会」については、まちづくり活動や市民協働の根幹を成す団体であることから、「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」の制定をきっかけに、市民はもとより、企業や関係団体の協力も得ながら、加入促進、負担軽減、退会抑止に総合的に取り組む。

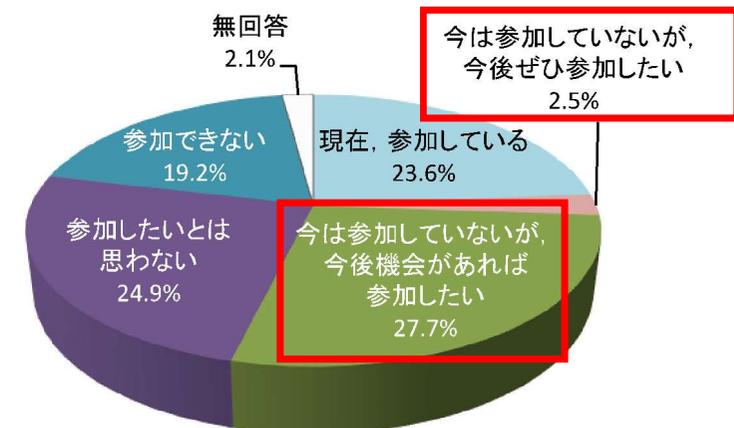
【総合評価】

	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	全体
評価点数	97.8	92.3	93.8	94.0	94.5
総合評価	順調	順調	順調	順調	順調

【参考：計画の成果指標】

「まちづくり活動に参加している」市民の割合

R3 基準値	R4 (参考)	R5 (参考)	R6 (参考)	R9 目標値
29.5%	23.8%	23.0%	23.6%	35.0%



n=2,767

出典：市政に関する世論調査結果報告書（令和6年度）

【意見交換】

「市民協働のまちづくり」に関する意見交換

- 意見交換のポイント
 - ・ 各委員の所属団体が取り組む市民協働のまちづくりにおける現状と課題
 - ・ 他のまちづくりの主体（市民，市民活動団体，NPO，事業者，高等教育機関，行政等）に求める役割や期待すること
- について，各委員の立場から自由にご発言ください。